事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 2月 1日　　事業所名　児童発達支援事業 あゆみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・活動室は基準よりも広く、1人当たりの広さを設けています。	
	②	職員の配置数は適切である	6		・基準よりも多い配置につとめています。	・基準よりも多い配置に努めていますが、正規職員が2名であり土曜日に休みが出た場合の運営が難しくなってしまうことがあるが想定されます。 ・「基準には足りていると思うが、支援以外の業務がある中でできる業務の範囲を超えていると思う」という意見も出ているため、改めて職員の業務内容を見直していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・活動室のマットの色分けをしています。 ・絵カードを作成し視覚的構造化に努めています。 ・掲示板やアプリを活用し情報を伝えています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・美化点検やその都度状況に合わせてガードやマットをきれいにしています。 ・毎日掃除を行っています。	・細かい箇所の掃除ができていないこともあるため、定期的に取り組んでいきたいと思います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・計画作成や行事立案の際にPDCAサイクルを意識しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・今年度実施した保護者向けアンケートの意見を参考に提示方法や設営方法を考えることができました。	・ガイドラインアンケートにあがったニーズを迅速に改善いたしました。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・法人が一括してHPにアップできるよう委員会や主任会でまとめています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		・3年に1度受審しております（前回は令和3年に実施）。次回は令和6年度実施予定です。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・月に1回職員研修を実施しております。 ・外部研修に参加しております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・面談時に保護者の方とすり合わせをしながらフォーマル、インフォーマルなアセスメントの利用をしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・外部からの発達検査やJ-SIR等状況に合わせて使用しています。	・今後Vineland-Ⅱ適応行動尺度も使用する予定です。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・地域支援が必要な方は計画に記載しています。	・今後移行支援や退所後に向けて地域と連携を取り切れ目のない支援を受けることができるよう努めてまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・ひとりひとりに合わせた支援内容や目標を設定してます。	・全職員と連携が取れるよう伝言板などを使用し統一した支援を行えるように今後も努めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・月案作成時に年間計画やその都度プログラムの案全職員と話し合いながら作成しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・季節や状況に合わせた遊びの提供に努めています。	・行事がある際は活動内容が偏ってしまうこともあるため子どもたちに合わせた支援内容を提供できるように心がけていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・子どもたち1人1人の強みや課題等に合わせて支援計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・朝礼や計画、日案等を通して全職員が支援内容や役割分担を確認できるようにしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・毎日振り返りを行いケースに記録しています。	・以前はパート職員と支援終了後に話し合う時間を設けることができていましたが今年度は機会を設けることが難しい日もあったため来年度からまた意識的に行っていきたいと思います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	6			・毎日ケース記録をとっており、振り返りや改善に繋げています。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 2月 1日　　事業所名　児童発達支援事業 あゆみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・利用日数や初回の利用児童は状況を見て半年以内に計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・担当者が責任をもって参画し情報共有を行っております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		・ペアレントトレーニング等の研修会や関係機関の情報の提供に努めています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当なし。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている			・該当なし。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・必要に応じて見学や電話で連携を取っています。	・今後もより見学等を行っていくことで子どもたちが生活しやすい環境を共に築いていくことができるよう取り組んでいきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・退所するお子さんに対しての移行会議や情報提供シートを作成し引継ぎを行っています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		・区内の連絡会や協議会の研修会に参加しています。事業所からは所長と主任が参加しており、書面等にて全職員に周知されています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	1		・地域の幼稚園・保育園等を交流する機会は少ないため今後は積極的に交流することができるように地域の方を招いた行事を実施する予定です。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		・社会福祉協議会児童発達部会に所長または、主任が参加しており全職員に周知されています。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・送迎時に丁寧な申し送りを努めており、必要に応じて面談を行っています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6		・今年度はOB・OGの方をお呼びし、現在の小学校の様子等を直接聞くことができるような機会を設けました。	
保護	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時丁寧に説明を行い、保護者の方に同意を頂いています。	・忘れてしまっている保護者の方もいることがあるため、必要に応じて再度丁寧な説明を行えるようにしています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・保護者の方に説明を行い同意を頂いています。また、支援内容について保護者の方としっかりと話し合い確認をしながら計画を作成し説明をおこなっています。	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・その都度面談を行っていますが、その後の状況についても寄り添いながら必要な助言を行えるように努めていきます。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		・保護者説明会や茶話会を実施しています。また、父母会等はありませんが、ペアレントトレーニングの場や行事を通して保護者の方がかかわりを持てるような機会を積極的に設けています。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 2月 1日　　事業所名　　児童発達支援事業 あゆみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・すぐに職員同士で検討し、上司報告を行い状況に合わせて対応を行っています。	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・HPやあゆみだよりを作成し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。	
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・契約時で同意を得るだけでなく、名前や写真を使用する際はその都度保護者の方に確認したりアンケートとったりするようにしています。	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	6		・子どもたちに対しては言葉で伝えることが難しい際にジェスチャーや絵カードを用いりながら意思疎通を図っています。また保護者の方に対しては言葉のみの伝達ではなく書面やアプリを用いりながら視覚的にもわかりやすいように配慮しています。	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			・これまで地域住民を招待する行事を取り組んだことはなかったため今年度2月に実施する予定となっています。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・引き渡し訓練、避難訓練、不審者対応訓練等実施し職員や保護者の方に周知しています。	
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	6		・毎月1回ずつ避難訓練と不審者対応訓練を行っています。	・非常食を確認し補充を行いました。また、年に一回防災の日をつくることで災害に備えることができるよう努めていきます。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・契約時、計画見直し時、必要に応じてに確認しています。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・アレルギーのある児童がいないため、来年度や新しくアレルギーが見つかった児童に対して対応ができるように改めて確認していきたいと思います。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・毎月職員会議でヒヤリハットの記録を振り返り事故等が起こらないように取り組んでいます。	・同じ内容のヒヤリハット報告もあるため改めて全職員が内容を共有できるように取り組んでいきたいと思います。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・毎年研修を行っています。またパート職員に対しても記録をしたものを共有しています。	
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		・身体拘束マニュアルを策定し、契約時に保護者へ説明、同意を得ています。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　5年 10月 1日

事業所名　　児童発達支援事業所　あゆみ　　保護者等数（児童数）22名　　回収数　19名　　割合　86.3%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19				・マット交換後さらに広くなった感じがします。	ご意見ありがとうございます。集団活動室、個別活動室でしっかりと活動が行えるよう、マット交換に伴い改めて活動室の環境を見直し整備させていただきました。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19					職員の配置数は基準よりも多く配置されております。高い専門性を意識し、研修等を行い自己研鑽の努め、日頃皆様にご説明できるように取り組んでおります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19					視覚的構造化（1日の流れの絵カード・活動室のマットの配置、手洗いの流れ、靴下をかける写真カード等）を意識し、子どもたち自身が見てわかりやすいようにしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	1			①迎えの時に子どもが鍵を開けた後勢いよく飛び出して危ないと思ったことがありました。もれなく注意喚起をした方が良いと思いました。 ②中は清潔だと思われるが、出入口が靴と靴下で歩くところの境が曖昧で子どもたちが靴を脱いでから靴箱に入れる通路が靴でも歩く場所なのでそこに関しては疑問に思う。	①ご意見ありがとうございます。大変申し訳ございません。お子様の飛び出しがないよう事前に言葉かけを行い環境を整えて参りたいと思います。 ②ご意見ありがとうございます。境がわかりやすいよう、靴の脱ぐ位置を下駄箱の前に変更させていただきました。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19					子どもの実態を踏まえた上で保護者等の意向・ニーズや課題を日々の支援の中で分析し、計画に反映しております。 またKIDS等のアセスメントツールを使用して客観的な評価が分かるように取り組んでおります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19					お子様の課題に合わせた支援内容を記載し、ご家族の要望に合わせて支援内容を検討させていただいております。支援計画でご家族向けに記載している場合は「家族支援」、地域向けに記載している場合は「地域支援」になっております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19					個別支援計画の見直し時、実施時に計画の適性度、実施状況をお話させていただいております。 一人一人の児童発達支援計画から日々の活動目標や生活目標を考えています。ご家族には送迎時にお伝えさせていただいております。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19					季節に応じたさまざまな活動プログラムをバランスよく配置し月案でお知らせしております。またコロナウイルス感染症も緩和されたことで行事も積極的に行っております。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　5年 10月 1日

事業所名　　児童発達支援事業所　あゆみ　　保護者等数（児童数）22名　　回収数　19名　　割合　86.3%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	4	9		去年はコロナ禍ということもありましたが、野火止保育園とZOOMでの交流を実施いたしました。また今度も実施予定です。さらに児童館や地域のイベントに参加しており事業所以外のお子さんとかかわるが増えてきております。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19					毎年４月に保護者の皆様に集まっていただき、説明させていただいております。 また、契約時に個々に説明をさせていただいております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19					ガイドラインに基づいて、発達支援、家族支援、地域支援についてそれぞれ個々の状況に合わせて、職員みんなで意見を出し合い計画を作っております。計画説明については、担当の職員から個別で説明をさせていただいております。
	⑫	保護者に対して「家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	18		1		・入所したばかりなので今後して頂けるのではないかと思っています。	ご意見ありがとうございます。ペアレントトレーニング等の保護者向け研修会は年に2回以上実施しております。今後も詳細につきましてはマチコミアプリにてご案内させていただきますのでご確認をよろしくお願いいたします。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19					連絡帳や送迎時必要に応じて面談等にてお子様の様子を共有しております。また今年度は活動参観を行い普段の事業所の様子を直接保護者の方に見ていただく機会を設けました。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1			支援計画の更新の際の面談のみ。必要があれば申し出れば柔軟に対応して頂けると思うが定期的に設定されていない。	ご意見ありがとうございます。事業所を利用している方全員の面談を1ヶ月1回程度実施することは職員の体制上難しいですが、計画見直し（半年に1度）の際や保護者の方からご希望がございましたら迅速に対応させていただきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	2		1	①同い年の子がわからないので、できれば保護者会等で教えていただく機会があれば保護者同士で情報共有などしやすいかなと思います。 ②父母の会、保護者会はない。送迎時すれ違ってもあまりお話しできないのでペアレントトレーニングの際に情報交換やお話しできる機会は貴重に感じる。	①ご意見ありがとうございます。お子さまのご年齢等をお伝えすることはプライバシーにかかわる内容になりますので難しいのですが、今後アンケートにて全保護者の皆様のご了承が得られた際はお伝えすることは可能です。また研修会等では保護者の方同士で情報共有ができる場を多く設けておりますのでぜひご参加頂けたらと思います。 ②ご意見ありがとうございます。法人としては父母の会や保護者会を作ることをすすめておりませんが、保護者の方が連携を取ることができるよう、茶話会・研修会・保護者説明会・行事等の機会を設けております。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　5年 10月 1日

事業所名　　児童発達支援事業所　あゆみ　　保護者等数（児童数）22名　　回収数　19名　　割合　86.3%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	2			連絡帳に普段気になることは記載させて頂いていますが、家族のことも含めて相談してもよいのか迷います。	ご意見ありがとうございます。連絡帳や送迎時、面談時などにていつでもご相談ください。また必要であれば面談の場を設けさせていただきますのでいつでもお申し付けください。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				・無回答1	マチコミアプリを昨年から導入させていただきました。基本的にはマチコミアプリでのご連絡となっておりますが、見にくい、分かりずらい等がありましたら、書面でのお知らせもできますのでお伝えください。なお、アンケートについては引き続きGoogle Formsにて行っていきますのでご協力をお願いいたします。アンケートには期日があるものもございますので締め切り日までにご協力いただけると嬉しいです。ご意見いただけましたら幸いです。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18			1		ホームページは月2回更新を行っております。また昨年から事業所の中と外に掲示板を設置させていただきました。事業所からの重要なお知らせを掲示していることがございますので定期的にご確認をお願いいたします。 ご家族への連絡につきましてはマチコミアプリや必要に応じて電話連絡もさせていただいております。 自己評価の結果につきましては、法人のHPにて公開しております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1		1		個人情報の取り扱いについては保護者の皆様に同意書をいただいております。資料等は鍵付きのロッカーに保管し、取り扱いには注意しております。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	1		1	・マニュアルがあり訓練もされていると思うが、周知・説明がすべてなされてはいない。	ご意見ありがとうございます。契約の際に緊急時におけるマニュアルをご家族に配布して、一読していただくようにご説明させていただいております。また緊急時のネームや用紙はご自宅で保管していただくようお願いしています。緊急時に必要なものになりますので無くされた方はご連絡をお願いたします。訓練時の報告についてえも積極的に発信して参ります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			1	・無回答1	マニュアルを利用しながら毎月1回避難訓練、半年に1回引き渡し訓練、消防署立ち合い訓練を実施しております。詳しくは月案やマチコミメールにて記載しております。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　5年 10月 1日

事業所名　　児童発達支援事業所　あゆみ　　保護者等数（児童数）22名　　回収数　19名　　割合　86.3%

			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応（事業所より）
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			・朝バイバイのときにぐずるときはあっても活動が始まると楽しく参加できてると思います。 ・2年半通う中で先生の愛情たっぷりの支援に育まれ、今では居場所、心よりどころの一つとなっている様子で喜んで通わせていただいております。 ・あゆみのことも先生のことも大好きでいつも楽しく通所しています。 ・あゆみの先生方が大好きで、幼稚園よりあゆみに行くことを楽しみにしています。先生方の細やかな配慮のおかげだと思います。ありがとうございます。 ・毎日行きたいといっています。 ・利用日をいつも楽しみにしています。 ・所内に入ると自ら進んで歩いていき靴や靴下を脱いで入っていくのでびっくりしています。先生方からも温かく接していただいていて大変満足しています。	嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子さまが楽しみを持ちながら事業所で過ごすことができるようさまざまな活動や行事等を取り組んでいきたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	18	1			・通所している子どもだけでなく親やきょうだい児まで支援していただき大変ありがたく思っています。なかなかここまでやってくださる児発はないと思います。 ・通うようになり、毎回の支援でとても成長を感じ、家での子育てもしやすくなり、出会いを心より感謝しています。先生方のあたたかな対応に親も癒され支えられています。 ・たくさんの成長が感じられあゆみに出会えてよかったと思っています。いつもありがとうございます。 ・～ちゃん、～くんとあゆみに通う子たちの名前をはっきり覚えていてコミュニケーションが取れている様子を見ると成長を感じます。	嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子さまのこころやからだを満たしていくことができるよう取り組んでいきたいと思います。またご家族の皆さまのニーズにお応えできるよう精進して参ります。

〇この「保護者等からの事業所評価表の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。